

# 萌ゆる花野

藤森 重紀

ひかりの密度がかわり

陽炎からうまれる

春 という妖精

湧水のくちずさむ

透明の旋律は

まひるの偏西風をやわらげ

回りだす 花まつりの時間

さみしさの扉をいくつも開ければ

大合唱しつ つ うねる

丘いちめんの菜の花

これから何がはじまるのだろう

入り日の合図に行進する

妖精たちのマーチングバンド

ねぎし やくし おのじ

土地の名が次つぎカナに羽化して

つるかわ みわ ときわまち…

やわらかな余韻は

朧月を迎える 読点

美しい春の解説を

なお 継続させる